



©2005 石塚真一小学館

第 285 号(令和4年(2022 年)11 月9日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ  
特別隊員

## 島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>  
を確認し万全の準備で入山を！

### 長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

11 月 1 週は、6 件の遭難が発生し、うち 2 件は死亡遭難です。

県内の標高が高い山域では、本格的な冬山シーズンを迎えようとしています。既に積雪がある山域もあり、ルートが雪で不明瞭になっているほか、凍結している場合もあります。入山にはアイゼンやピッケルが必要になりますので、装備品のメンテナンスとともに、アイゼン歩行やピッケル操法を身に付け、致命的な転倒や滑落遭難を防ぎましょう。

各地の里山では、紅葉が一層深まり見頃を迎えていますが、ルートによっては落葉で登山道が非常に不明瞭になっているほか、滑りやすくなっています。「ちょっと紅葉狩りに行こうかな」というような観光気分の延長で入山すると、思わぬ遭難やトラブルに遭う可能性がありますので、事前の下調べのほか、防寒衣(雨衣)やヘッドライト、食料などを携行しましょう。

山(自然)は美しくも過酷な場所です。少しの油断や判断ミスが、重大な遭難の原因となる場合があります。十分な下調べと装備品の準備を行い、自身や仲間の技量に見合った計画を立て、無理のない行動をしましょう。

北アルプス等の山域では、多くの山小屋が今シーズンの営業を終了しています。「登山に行ったら営業していなかった。」「水場がない。」ということにならないように、事前に山小屋の営業期間等を確認しましょう。

### 発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
11 月 1 日	長野市 旭山	男	72	無事救出	道迷い	単独で旭山から下山中、道に迷い、行動不能
1 日、単独で長野市平柴地籍の朝日山観世音を訪れた男性(72 歳)が、下山中に道に迷い、行動不能となる山岳遭難が発生し、長野中央警察署山岳高原パトロール隊員及び長野市消防局中央消防署高度救助隊員が出動して救助しました。						
11 月 2 日	北アルプス 北穂高岳	男	47	死亡	滑落	単独で北穂高岳南稜を登山中、滑落

2日、単独で北アルプス北穂高岳に向けて南陵を登山中の男性(47歳)が、宿泊予定の山小屋に宿泊せず、行方不明となっていたところ、北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して男性を発見し、県警へリで救助しましたが、死亡が確認されました。

11月3日	上田市 独鈷山	女	62	負傷	転倒	2人パーティで独鈷山から宮沢コースを下山中、転倒、負傷
-------	------------	---	----	----	----	-----------------------------

3日、2人パーティで独鈷山に入山した女性(62歳)が、宮沢コースを下山中に枯れ葉で足を滑らせて転倒負傷し、行動不能となる山岳遭難が発生し、上田地域広域連合消防本部の消防署員が出動して救助しました。

11月5日	飯田市 風越山	男	69	死亡	発病	2人パーティで風越山に向けて登山中、発病
-------	------------	---	----	----	----	----------------------

5日、2人パーティで風越山に入山した男性(69歳)が、登山中、体調不良により意識不明となる山岳遭難が発生し、県警へリが出動して救助しましたが、その後死亡が確認されました。

11月6日	北アルプス 赤岩岳	男	20	無事救出	その他	単独で天狗の科尔から西穂高岳に向けて登山中、技量不足により、行動不能
-------	--------------	---	----	------	-----	------------------------------------

6日、単独で北アルプス赤岩岳に入山した男性(20歳)が、天狗の科尔から西穂高岳に向けて登山中、技量不足により行動不能となる山岳遭難が発生し、県警へリが出動して救助しました。



11月6日	阿智村 恵那山	男	74	負傷	転倒	単独で恵那山から広河原登山口に向けて下山中、バランスを崩して転倒、負傷
-------	------------	---	----	----	----	-------------------------------------

6日、単独で中央アルプス恵那山に入山した男性(74歳)が、広河原登山口に向けて下山中、バランスを崩して転倒・負傷する山岳遭難が発生し、県警へリが出動して救助しました。



令和4年(2022年)中の山岳遭難発生状況(令和4年(2022年)1月1日～11月6日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和4年(2022年)	268	35	3	131	124	293	169
内)単独登山	92	16	2	34	40	92	52
令和3年(2021年)	246	45	2	110	107	264	157
前年同期比	+22	-10	+1	+21	+17	+29	+12
内)単独登山	-11	-8	±0	+1	-4	-11	-7

■山域別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～11月6日)

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	47	17.5%	8	0	27	15	50
	後立山	47	17.5%	7	0	20	26	53
	その他	29	10.8%	3	1	13	13	30
	計	123	45.9%	18	1	60	54	133
中央アルプス	17	6.3%	3	0	8	7	18	
南アルプス	7	2.6%	0	0	4	3	7	
八ヶ岳連峰	49	18.3%	4	0	28	25	57	
その他の山岳	72	26.9%	10	2	31	35	78	
計	268		35	3	131	124	293	

■態様別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～11月6日)

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	69	25.7%	22	0	49	0	71
転倒	65	24.3%	0	0	65	0	65
病気	24	9.0%	8	0	0	16	24
道迷い	42	15.7%	0	0	1	53	54
落石	5	1.9%	0	0	6	0	6
雪崩	4	1.5%	2	0	2	0	4
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	30	11.2%	1	0	0	33	34
不明・他	29	10.8%	2	3	8	22	35
計	268		35	3	131	124	293

■男女別・年齢別比率(令和4年(2022年)1月1日～11月6日)

区分	男性				(人)		女性				(人)		男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	3	6	9	38 19.1%	0	0	0	1	1	14 14.9%	10	52 17.7%
20代	1	0	3	15	1		0	0	4	3	7		26	
30代	0	0	3	7	10		1	0	4	1	6		16	
40代	4	0	23	8	35	64 32.2%	0	0	9	5	14	41 43.6%	49	105 35.8%
50代	4	0	14	11	29		2	0	12	13	27		56	
60代	10	0	16	23	49	97 48.7%	2	0	12	5	19	39 41.5%	68	136 46.4%
70以上	9	2	19	18	48		2	1	9	8	20		68	
計	28	2	81	88	199		7	1	50	36	94		293	
比率	67.9%						32.1%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

\* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp  
までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝